

令和元年度 学校安全総合支援事業

「**守ろう、
支えよう、
大好きな故郷**」

活動報告書



西尾市防災マスコット
「ほうサイくん」



【はじめに】

西尾市は、平成 26 年 5 月に愛知県が公表した南海トラフ地震の被害予測調査結果において、長い海岸線と軟弱な地盤を抱えていることなどから、県内で最も深刻な被害が予測されています。とりわけ津波被害が危惧されていることから、本市では平成 30 年 3 月に「津波浸水避難シミュレーション（現在：西尾市津波避難計画）」を作成し、市民の皆様には、津波発生の際は浸水想定区域外へ避難することを推奨してきました。

そのような中、本市は昨年度より愛知県教育委員会から本事業の委託を受け、学校安全に係る取組を進めてきました。昨年度は、津波被害がほぼ全域で危惧されている「一色地区」を、今年度は、津波被害が広い範囲で危惧されている「吉良地区」をモデル地域とし、命を守るための防災活動を進めてきました。

事業の名称

昨今、全国各地で災害が発生していることから、これまで以上に防災に対する意識強化を図るとともに、学校安全に係る取組を推進していくことは重要課題となっています。一方で、災害に対して過剰に反応しすぎることは、自分たちの故郷に対する愛着が薄れてしまうことにも繋がりがかねません。子どもたちの中には、この先何十年と地元で生活し、地元で活躍する子どもも多くいるはずです。

そこで、児童・生徒には「防災」に関する学習を通して、有事の際は自分たちの故郷を守り、支えていける防災リーダーとして活躍できる人材になってほしいという願いを込め、本事業の名称を「**守ろう、支えよう、大好きな故郷**」としました。